

## 栗原一成 | KURIHARA Issei

### ■ Biography

- 1967 神奈川県横浜市生まれ
- 1993 多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業
- 1995 多摩美術大学大学院美術研究科絵画専攻修了
- 2009 多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻講師
- 2018 同教授

### ■ Activity history

- 2005 Gallery Stump Kamakura 共同で設立
- 2011 Alternative Space「ゲルオルタナ」設立
- 2018 STUDIO ISSEI 設立

### ■ Solo Exhibition

- 2022 「謡|UTAI」 PARK8 (東京) 12/3-12/18
- 2021 「空から空」 長亭ギャラリー (東京)
- 2018 「カウンター栗原一成」 巣鴨小さなカウンター (東京)
- 2017 「スナック栗原一成」 巣鴨小さなカウンター (東京)
- 2015 「多声 2」 GALLERYAN ASUKAYAMA (東京)
- 2015 「多声」 komagome1-14CAS (東京)
- 2013 「あの影にはかたよりがありません」 GALLERYAN ASUKAYAMA (東京)
- 2012 「カフェ 栗原一成」 ゲルオルタナ (東京)
- 2011 「この雨は水ですか」 東京画廊+BTAP (東京)
- 2008 「盲視/Blindsight」 東京画廊+BTAP (東京) 11月
- 2003 「新世代の視点 2003・テンエレメンツ」 ギャラリー K (東京)
- 2003 「無刀、因果風景」 東京画廊 (東京)
- 2003 「栗原一成展」 ベイスギャラリー (東京)
- 2003 「栗原一成展 無刀、因果風景」 東京画廊 (東京)
- 2001 「栗原一成展」 ベイスギャラリー (東京)
- 2001 「第2回美術家助成プログラム受賞記念展」 セゾンアートプログラム・ギャラリー (東京)
- 2001 「栗原一成展 チリ投げ」 マキイマサルファインアーツ (東京)
- 2001 「ギャラリー K 推薦作家展・知性の触覚 2001 それぞれの他者」 ギャラリー K (東京)
- 2000 「ツカム雨」 ギャラリー手 (東京) キュレーター・テキスト/堀浩哉
- 1999 「栗原一成展 目犬」 ギャラリー21+葉 ANNEX (東京)

1998 「栗原一成展 あるあるあるあるあるあるある」 ギャラリー K (東京)

1997 「栗原一成展 欲そらしからエレメンタル体へ」 ギャラリー K (東京)

1995 「栗原一成展」 なびす画廊 (東京)

#### ▪ Group Exhibition

2023 「ゾンビがいる絵展 2」 スペースくらげ (神奈川) 1/7-1/22

2022 「コカドフォーマット」 ゲルオルタナ/スペースくらげ (神奈川) 9/7-10/1

2022 「ゾンビがいる絵展」 スペースくらげ (神奈川) 1/7-1/30

2020 「ゲルオルタナビニール道場」 STUDIO ISSEI/ゲルオルタナ (東京)

2020 「速玉 石田尚志+O JUN+栗原一成」 STUDIO ISSEI (東京)

2019 「野良のつきあたり」 STUDIO ISSEI/ゲルオルタナ (東京)

2019 「こわしながらつくられている つくりながらこわされている」 STUDIO ISSEI/ゲルオルタナ (東京)

2018 「TELEPORTATION」 STUDIO ISSEI、アートラボはしもと、LUCKY HAPPY STUDIO (神奈川・東京) /  
ゲルオルタナ企画展 10月~11月

2017 「切断 vol.3」 3331GALLERY (東京)

2015 「新・朦朧主義展 第三回」 東京画廊+BTAP (北京)

2015 「切断 vol.2」 ゲルオルタナ (東京)

2014 「ミクロナロン 2014」 東京画廊+BTAP (東京)

2014 「切断」 ゲルオルタナ (東京)

2013 「ミクロナロン 2013」 東京画廊+BTAP (東京)

2013 「GalleryAn Summer Group Exhibition」 GalleryAn Asukayama (東京)

2012 「ミクロナロン 2012」 東京画廊+BTAP (東京)

2012 「460 人展」 名古屋市民ギャラリー (愛知)

2011 「りょうたといっせいとたけと/ドローイング展」 ゲルオルタナ (東京)

2010 「ミクロナロン 60」 東京画廊+BTAP (東京)

2010 「Contemporary Art of China and Japan」 釜山市立美術館 (韓国)

2008 「里程碑 Milestones」 東京画廊+BTAP (北京)

2007 「BTAP-Works in Progress」 東京画廊+BTAP (北京)

2007 「SKIP！」 Gallery Stump Kamakura (神奈川)

2007 「Art@Agnes」 アグネスホテル (東京)

2006 「キミ・ボクはいない~晴ればれ」 Gallery Stump Kamakura (神奈川)

2004 「新東京画廊展」 東京画廊 (東京)

2002 「第 17 回平行芸術展 桜の花は匂わないか？」 エスパス OHARA (東京)

2001 「かたちを求めて-11 人の日本人作家」 釜山市立美術館 (韓国)

2001 「小林康夫によるセゾン現代美術館コレクション展 筆触のポリティクス」 セゾン現代美術館 (長野)

1999 「第 4 回アート公募 2000 企画作家選出展」 新木場 SOKO ギャラリー/モリスギャラリー (東京)

1997 「視そらし展」 真木・田村画廊 (東京)

1994 「左手展」 多摩美大ホール (東京)

1994 「WORKS 4 人の場所から」 世田谷美術館ギャラリー (東京)

1991 「ZONE インディペンデント展」 パルテノン多摩 (東京)

## ■ Live Painting/Performance

- 2023 「Art&Philosophy vol.3」 小林丈人・西田光/スペースくらげ (神奈川) 3/26  
2022 「想念セッション」 栗原一成・武田歩 (土曜会) /PARK8 (東京) 12/10  
2022 「パフォーマンス」 演出・牛嶋みさを/PARK8 (東京) 12/10  
2022 「Art&Philosophy vol.2」 ゲルオルタナ/スペースくらげ (神奈川) 10/8  
2022 「Art&Philosophy」 スペースくらげ (神奈川) 5/4  
2022 「Drawing Session 山口みいな・栗原一成」 スペースくらげ (神奈川) 1/22  
2017 「Issei Kurihara/ライブ超散漫ペインティング」 秋葉原/JR 高架下 (ライブペインティング)

## ■ Award

- 2001 第2回セゾン美術家助成プログラム グランプリ受賞  
1999 第4回アート公募2000 審査員賞

## ■ 論文

「あの影にはかたよりがありません」 『多摩美術大学研究紀要』 (28), pp13~19, 2014, 単著

## ■ 著書

- ・「直観/対話」 『S.O.S.BOOK 2022』 Super Open Studio NETWORK, 2022, 単著
- ・「根拠について」 『テオリア』 2000, 01, 単著
- ・「区別」 『セゾンアートプログラム NEWS LETTER』 (19), 2001.01, 単著
- ・「光を超えた光」 『第17回平行芸術展カタログ』 2002.01, 単著
- ・「キミ・ボクはいない～晴れはれ」 『Stump Kamakura キミ・ボクはいない～晴れはれ 展覧会カタログ』 2006.01

## ■ 総説・解説記事

- ・「絵画制作の臨床現場における哲学対話の試み」 『立正大学大学院文学研究科紀要』 (39)2023.3, 田坂さつき著
- ・「絵画のリアリティと強度-栗原一成の成立する場所」 『テオリア』 2000.01, 堀浩哉著
- ・「展評」 『ベースギャラリー 栗原一成個展カタログ』 2003.01, 小林康夫著
- ・「とどまる場所」 『徘徊巷』 (6), pp10~14, 2004.07, 千葉成夫著
- ・「徘徊巷記から7-始めることの論理」 『LR』 (24) pp68~71, 2001.01, 千葉成夫著
- ・『釜山市立美術館 かたちを求めて-11人の日本人作家 展覧会カタログ』 釜山市立美術館, 2001.01, 千葉成夫著
- ・「眩暈にも似た快楽誘う」 『株式会社ギャラリーステーション ギャラリー』 2012.01, pp58~59, 三田晴夫著

## ■ 共同研究業績

「安齊重男=多摩美術大学関係者写真作品 デジタルアーカイブ」

研究期間：2010年04月～2011年03月

相手先機関名：多摩美術大学

共同研究区分：学内共同研究